

大津市立日吉中学校及び日吉子どもサミット

活動テーマ

令和5年度
エコ・スクール活動報告書

安心・安全な生活環境の構築 ～日吉版 SDGs にチャレンジ～

実践事例について

日吉中学校区内には4小学校2中学校（1校は私立）がある。この6つの学校の児童会・生徒会で構成された日吉子どもサミットが中心となり、6小中学校が共同で参加し、実践している地域の環境保全活動がある。日吉台学区は「日吉台花の街づくり」、下阪本学区は「下阪本クリーン作戦」、坂本学区は「坂本ふるさと大掃除」、雄琴学区は「雄琴ヨシ刈り」が各学区メインの活動である。特に、琵琶湖周辺に位置する下阪本と雄琴の活動の際には、シジミやフナの稚魚の放流が行われている。さらに、そういった水生生物が生息できる環境になっているかを検証するために、地域の河川の水質調査も実施している。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により様々な活動内容を再検討し、再構築する年となった。今年度は昨年度検討した事柄について、再度具体的に検討し実践を行った。

1. 「日吉子どもサミット」について

日吉子どもサミットは、平成2年に日吉ブロックの4小学校2中学校の児童会・生徒会の子どもたちがリーダー研修の場として集まり、何か一緒にできることはないかと考え、結成された。日吉子どもサミットの活動を通じて自分の意見を述べたり、行事を企画・運営したり、地域ボランティアに取り組むなど、社会性を育てることが目的である。

最近では地域の安全マップを作り、子ども目線での地域の課題を地域の方々に発信し交流することで自分たちの暮らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今までの「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、新たな取り組みを試みたり広報活動をさらに強化したりしながら、多くの児童・生徒と一緒に活動できるように考えている。

2. 今年度の活動テーマと基本方針

・活動テーマ：「安心・安全な生活環境の構築」
～日吉版 SDGs にチャレンジ～

・基本方針：

- ①日吉ブロックの児童会、生徒会の児童生徒がボランティア活動を通して友好を深め、地域内のリーダーとして活躍できる場とする。
- ②サミット会議を開き各校の活動を交流することで互いの活動を理解し、よりよいところを吸収し、各校の学校づくりに生かす。

数年前までは、総括と反省で出た意見をいかして、地域の安全マップを作り、子ども目線での地域の課題を地域の方々に発信し交流することで、自分たちの暮

らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今まで「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、多くの児童・生徒と一緒に活動できるようにと考えられてきた。「日吉はひとつ」をキーワードに、日吉ブロックの子どもの現状と課題について考え、ブロックで共通して取り組めることを毎年検討している。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により昨年は、各地域でのボランティア活動への参加が難しい1年であった。今年度は、昨年度検討されたコロナ禍での活動を再検討しながら「安心・安全な生活環境の構築」～日吉版 SDGs にチャレンジ～をテーマに、新たな取り組みにも挑戦している。今年度は学校や家庭、そして地域で、安心・安全にまた、健康的に生活を送るために、自分たちにできることについてより一層考えを深め、交流し、実践へ移す、という思いで取り組んだ。

3. 今年度の活動 （●はエコスクールに関わるもの）

実施状況

- 年間3回の日吉子どもサミットの開催
 - 第1回日吉子どもサミット 6月23日
(司会：雄琴小学校)
 - ◇各校での取り組み紹介・交流
 - ◇アルミ缶回収活動代替活動のアイデア交流
 - 第2回日吉子どもサミット 8月22日
(司会：比叡山中学校)
 - ◇各校での取り組みについて（中間報告）
 - ◇MLGsについての学習会（担当：日吉中学校）
 - ◇地域の方々との意見交流

●第3回日吉子どもサミット 1月19日

(司会：下阪本小学校)

◇今年度の活動報告

◇ペットボトルキャップ回収の報告



各校の取り組み

○雄琴小学校

【ペットボトルキャップで世界を守ろう】

捨てるはずのペットボトルキャップを回収し、何かの役に立てたいという思いから、取り組みが始まった。周知や回収の方法を運営委員の児童で話し合い、活動を進めた。児童だけでなく、教職員からも集まり、予想を大きく上回るペットボトルキャップを回収することができた。

●日吉台花の街づくり (7月8日/11月11日)

・日吉台小学校、日吉中学校を中心に地域の方々と協力して日吉台学区入り口、市民センター前、小学校前に季節の花を植える。その後の草引き等の手入れも実施。



○日吉台小学校

・ペットボトルキャップ回収

児童会運営委員会が全校に呼びかけ、ペットボトルキャップ回収に取り組んだ。ポスターを作ったり、呼びかけたりし、どれくらい回収できたかをテールで配信し、地域の方々にも協力いただいた。昇降口に、今ワクチン何人分集まっているかを伝えるコーナーを作ることによって、意識して持ってきてもらえるようになった。



●下阪本クリーン作戦 (12月2日)

・下阪本小・日吉中学校の児童生徒が、地域の方々と琵琶湖岸の清掃活動を実施し、地域の方々の協力で行き続きシジミの放流も行うことができた。



●坂本ふるさと大そうじ (12月21日)

・日吉大社参道の清掃活動を、坂本小学校、比叡山中学校、日吉中学校の児童生徒を中心に地域やPTAの方々で協力して行った。



・譲渡会の取り組み



6年生児童とPTAで譲渡会の取り組みを行った。「使える文房具や学校の道具を後輩たちに譲り、大切に使用してもらおう」と、6年生児童が、回収箱を作ったり、ポスターやチラシを作ったりした。また、譲渡会当日は、呼びかけにも参加した。新1年生には1日入学で、体操服、算数セット、引き出しなど集めた品物を使ってもらえるようにもした。

●雄琴ヨシ刈り・フナ放流 (1月28日)

・雄琴小学校、日吉中学校、地域の方々や企業のボランティアと協力して、ヨシ刈り・フナ放流を行った。



●日吉ブロック少年少女交流大会 (12月16日)

～八王子山&日吉大社ウォーク～

・地域資源である神社や山をフィールドとし、年齢や校種を超えて保幼小中生が交流することで、地域への愛着心や所属感、協調性を高める。

【今年度は雨天のため中止】

○坂本小学校【坂本ふるさと大掃除】に向けて

- ・企画 JRC 委員会による放送での告知
- ・坂本ふるさと大掃除への参加
- ・企画 JRC 委員会によるペットボトルキャップの回収
- ・環境委員会による草引き大会の実施



○下阪本小学校

- 代表委員会での周知
- 「ハッピータイムズ」（広報新聞）の記事にして各クラスで掲示
- 校内放送3回実施（給食時）
- 当日、執行部の児童が環境宣言を行う

○比叡山中学校

- 坂本ふるさと大掃除への参加
- 筆記用具貸出のブースを設置
- ボランティア委員による雑巾づくり 真盛園へ贈呈
- 使い捨てカイロ回収
- ウクライナ支援のための校内募金活動
- ペットボトルキャップ回収



○日吉中学校

- 駅前を花を飾ろう運動(環境委員会) 比叡山坂本駅前にプランターを設置
- 環境保全活動への参加と呼びかけ MLGs (ポスターや放送等の 広報活動の強化、誘い合い運動)
- MLGsの啓発活動(体操等)
- あいさつの花(あいさつ運動)
- ペットボトルキャップ回収
- 地域行事の参加(司会を含む)

4. 成果と課題

成果

- 昨年度、コロナ禍においてオンライン会議等で検討し、各校で試験的に取り組んできた活動を日吉子どもサミットとして全体で取り組むことができた。
- 今年度からMLGsの学習会や取り組みを始めた。日吉中学校生徒会によるMLGsについての解説など、中学生から小学生が学ぶ機会を設けることにより、ともに学び合うことができた。
- 地域の方々とともにMLGsについて考え、意見を交流する場を設定することにより、地域の方々の思いや体験談を聞くことができ、より学びを深めることができた。

課題

- 日吉子どもサミットの新たな取り組みである「ペットボトルキャップの回収」「MLGs」について、活動を活性化させる必要がある。
- 日吉子どもサミットは小学校、中学校の生徒が集まるまたとない機会であり1回1回の会議を形骸化させずに深い学びを得られるようにする必要がある。生徒の主体性を育む活動にしていきたい。

今後の展開と方向性

- 各校での児童・生徒会の取り組み紹介を継続
- 「日吉版SDGs」ペットボトルキャップ回収
- MLGsの取り組み
- 小学生と中学生がともに学び合い、高め合える活動の企画



事務局 大津市立日吉中学校
 大津市下阪本六丁目 38-26
 077-578-0056
 hiyosi@otsu.ed.jp